

理事長挨拶 ～看護の実践知の構築をめざそう～

東邦看護学会理事長 齋藤 益子 (東邦大学看護学部)

日本に大パニックを引き起こした東日本大震災から4か月が経過しました。震度9という大地震とそれに伴う想定外の津波で、多くの方々の尊い生命が失われました。また、津波で助かった方々もその後の生活の変化で体調を壊してお亡くなりになる方も多く、災害にあわれた皆様やご家族の皆様、関係者の皆様には心からお悔やみ申し上げます。

引き続いての原発災害では多くの方が住み慣れた土地を離れ、不自由な生活を強いられております。放射能という目に見えない敵になすべきすべもなく、解決の目途がたたない状況が続いており、当事者の皆様の心身のストレスは如何ばかりかと、胸が押しつぶされそうです。自然の脅威を目の当たりにして、人間の無力さを感じると同時に、日本全体が今こそ一致団結して頑張っていかなければならない時であると感じております。

一方では、この様な被災にも負けず、災害から立ち上がろうと努力されている地元の方々の強さや、お互いを思いやる美しい心に触れ、頭が下がる思いです。現在でも余震も続いており、原発の放射能の問題もあり、まだまだ不安な毎日で、1日も早い復興を願うばかりです。

さて、東邦の看護教育は看護学部改組され、

新しくスタート致しました。東邦看護学会も看護学部というバックボーンに支えられ、学会としての土台をさらに確固なものにしていきたいと考えます。人間教育を重視

した東邦看護の歴史をふまえて、「患者の心に寄り添う看護」の実践知を構築していける様に研究・研鑽していく場としての看護学会の役割を再認識し、ますます発展していけるように努力していきたいものです。

今年、東邦の看護教育は85周年を迎えます。長い看護学教育の歴史と併せて医学部、薬学部、理学部の理系総合大学として他の大学にはない素晴らしい環境にあることに感謝し、その特徴を活かした看護を追及していきたいものです。

今年の第11回東邦看護学会は12月17日に竹内千恵子学術集会会長のもと、看護学部で開催されます。看護を取り巻く様々な方々との交流をはじめ、多くの皆様の研鑽の場になることを期待しております。

平成23年7月25日



東邦看護学会委員会の紹介

学会誌編集

出野 慶子	東邦大学看護学部
山田 緑	東邦大学看護学部
伊東 和子	東邦大学医療センター大森病院
都橋 薫	東邦大学法人本部看護企画室
菊地 由美	東邦大学看護学部
細谷 幸子	東邦大学看護学部
長谷川直人	東邦大学看護学部

活動内容

研究会誌から学会誌になって今年は2年目となります。昨年は編集作業を進めつつ、投稿規定の見直しを行い、また投稿時のチェックリスト用紙などを作成しました。本学会の会員は臨床の方が大部分ですので、わかりやすいように具体例を記載し、投稿原稿の体裁が整うように工夫しました。また、研究活動支援委員会と合同で、論文投稿前に投稿者に見ていただくDVDも作成しました。

学会誌編集委員会は、著者と査読者との間に入り、査読をとおして論文の質が高まるように支援することが大切な活動となります。委員自身も査読力を高める努力をしながら、東邦看護学会誌第9号の発刊に向けて、編集作業を頑張りたいと思います。

研究活動支援

福田美和子	東邦大学看護学部
鈴木 康美	東邦大学看護キャリア支援センター
津野 陽子	東邦大学看護学部
三條真紀子	東邦大学看護学部
富岡 由美	東邦大学看護学部

活動内容

研究活動支援委員会では、以下の活動をしております。

第1に、学術集会における発表論文への受賞です。これは、学会員の発展が見込める話題を提供した演題や発表方法が工夫されている演題に対し、学術集会ごとに最大4演題まで賞状と金一封を授与するものです。第2に、研究奨励金の助成です。この研究奨励金を用いて、データ収集に必要な器材や資料整理のための文具、図書の購入などができます。助成を受けた翌年の学術集会での発表を経て学会誌への投稿ができるよう、毎年7月末日に必要書類の締め切り日とし研究計画を募集しています。1件につき30万円までの助成をしています。研究をすすめるためには資金が必要ですので、是非利用してください。

研究に必要な基礎知識の普及に向けた第3の活動として、今年度は、学会誌編集委員会との合同企画で「投稿にあたり」というDVDを作成しました。学会発表はもとより学会誌への投稿における注意事項を説明している15分のDVDです。学会発表の前や投稿を考えているときは、是非1度視聴していただきたいと思っています。

研究で困っていることやこんな企画がほしいといったアイデアをお寄せいただければ、検討し企画しますので、是非ご意見をいただきたく存じます。

広報

横井 郁子	東邦大学看護学部
畑中 晃子	東邦大学医療センター大森病院
山城 久典	東邦大学看護学部
影山 美子	東邦大学医療センター大橋病院
林 弥生	東邦大学医療センター佐倉病院
安武 綾	東邦大学看護学部

活動内容

昨年度は学会ホームページを立ち上げました。少しでも多くの方にアクセスしていただき、学会の存在を知っていただけるよう維持、管理していきたいと思っています。

ニュースレターも昨年度と同様、年2回、発行予定です。

庶務

出射 明子	東邦大学法人本部看護企画室
寺口 恵子	東邦大学医療センター佐倉病院
山崎 圭子	東邦大学看護学部
鈴木明由実	東邦大学看護学部
小笠原法子	東邦大学看護学部

活動内容

会員名簿管理、理事会・評議員会の事務局としての活動をしています。

特に今年は、会員名簿管理システムの構築をする予定です。

会員を増やし、学会を盛り上げていくためのご意見をお寄せください。

会計

菊地 京子	東邦大学医療センター大橋病院
鈴木 良美	東邦大学看護学部
金山 明子	東邦大学看護学部

活動内容

「東邦看護学会」に名称が変わり、会費が昨年度より3000円となりました。会員もすでに1500名を越えております。皆様の会費を大切に活用させていただきます。



第11回東邦看護学会学術集会開催にむけて

第11回東邦看護学会学術集会会長 竹内 千恵子
(東邦大学看護学部 東邦大学看護キャリア支援センター)

医療の進歩により高度かつ専門的な治療が提供され、患者及び家族の医療へのニーズが高まっております。これらのニーズに応えるためには、これまでのような特定の医療者による専門性の提供だけでは限界があることが様々な場で指摘され、チーム医療についての検討がここ数年活発に行われています。これは、多種多様な医療者が医療チームの一員として専門性を発揮し、業務分担しつつ有機的に連携することによって、患者及び家族に的確な医療を提供しようとするものです。当然看護職もチームの一員として最新医療への対応とそれを受ける患者の安全安心な療養生活の保障という二つの両立を、これまで以上に社会から求められております。

このような社会の流れの中で、「包括的指示」に基づく「特定医行為」の実施等、看護師の役割拡大が検討されております。看護は何をすべきか、社会が求める看護の役割とは何か、看護独自の機能があるのか、あるとすればどのようなことか等々、看護の存在意義も含め今改めて看護の根幹について問われていると思います。

勿論、「心によりそう看護」の実践を目指す東邦大学も例外ではありません。現実の中で看護職者がどのような看護をめざすのか、医療チームの一員としてどのような役割を担うのか、そのために一人一人がどのような看護実践能力を備えれば「心によりそう看護」が実践できるのかについて、未来の看護の役割を見すえつつ考える必要があると思います。

そこで、第11回東邦看護学会学術集会のテーマを「チームで育み未来につなげる看護の力」とし、医療チームの一員として看護の専門性を発揮できる看護師をどのように育み、未来にどうつなげるかについて考えたいと思います。開催日は平成 23 年 12 月 17 日（土）で、会場は1年ぶりに東邦大学看護学部看護学科に戻って参ります。

今回は看護実践をふまえ身近に語り合う場として様々なテーマについて意見交換する交流集会を企画しております。皆様には気軽に参加していただき、是非多くの看護者と知り合い、語り合い、何かを持って帰っていただいで、明日の看護実践に活用していただけたら幸せです。

卒業生の70%以上が就職する東邦大学医療センター 3 病院と、それら卒業生を送り出す東邦大学看護学部看護学科、佐倉看護専門学校、更に現任教育を担う東邦大学看護キャリア支援センター、看護企画室、看護同窓会が一体となった東邦大学看護チームは固い絆で結ばれています。そのチーム力で是非沢山の方々の参加を学会スタッフ一同お待ちしております。



第11回東邦看護学会学術集会

◆メインテーマ◆ チームで育み未来につなげる看護の力

■日時：H23年12月17日（土） ■会場：東邦大学看護学部看護学科

プログラム

時刻	第1会場(第1・2講義室)	第2会場(第3講義室)	第3会場(第4講義室)	第4会場(第5講義室)	第5会場(第6講義室)
9:00	受付開始、開場	9:00 開場			
10:00	開会				
11:00	10:10～11:00 会長講演「未来につなぐ看護」 演者 竹内 千恵子 (東邦大学看護学部、東邦大学看護キャリア支援センター)				
11:00	11:10～11:45 一般演題・ポスターの発表	11:10～11:45 一般演題	11:10～11:45 一般演題	11:10～11:45 ポスター	11:10～11:45 ポスター
12:00	11:50～12:25 一般演題・ポスターの発表	11:50～12:25 一般演題	11:50～12:25 一般演題	11:50～12:25 ポスター	11:50～12:25 ポスター
13:00	12:40～14:00 総会 学会賞表彰 昼食・休憩				
14:00	14:00～15:00 特別講演 「変化する社会が期待する看護実践能力」 演者 中村 恵子(札幌市立大学看護学部長)				
15:00	15:10～16:40 交流集会1～4【災害看護】【感染管理】【がん看護】【医療安全】4つの会場に分散して開催予定 会場は当日ご確認ください。				
17:00	16:50 閉会式				
	次期会長挨拶				
	閉会				

第11回東邦看護学会学術集会を「チームで育み未来につなげる看護の力」をメインテーマとして、H23年12月17日（土）に開催いたします。

看護学会として、2年目を迎え、教育と臨床が連携することで、未来につなげる看護の力を向上させることができたらと、様々な企画を考えました。今回は、札幌市立大学看護学部長の中村恵子氏による特別講演を予定しています。また、これまでのシンポジウムから、より参加しやすい交流集会を企画しました。【災害看護】【感染管理】【がん看護】【医療安全】の4つの分野で、演者と参加者が積極的に意見交換し、【聞いて、語って、知識を持ち帰って活用する】場を作りたいと思います。さらに、演題登録の方法を、オンラインに変更してより投稿しやすい形に変更しました。ぜひ、多くの方々の参加をお待ちしています。

.....「ニュースレター15号」に関するお詫びと訂正文.....

ご所属の情報の中に一部誤りがありました。謹んでお詫びさせていただくとともに下記のように訂正をさせていただきます。よろしくご理解の程、お願い致します。

誤 川島優衣 (東邦大学医療センター佐倉病院7号館西病棟)
今野聡子 (東邦大学医療センター大森病院2号館4階東病棟)
山田美穂 (東邦大学医療センター大森病院救命救急センター)

訂正 川島優衣 (東邦大学医療センター佐倉病院7階西病棟)
今野聡子 (東邦大学医療センター大森病院救命救急センター)
山田美穂 (東邦大学医療センター大森病院2号館4階東病棟)

NEWS LETTER 

ニュースレター事務局
〒143-0015 東京都大田区大森西 4-16-20
TEL 03-3762-9881
FAX 03-3766-3914